

会議録（案）

会議の名称	社会教育委員の会議（3月定例会）会議録
開催日時	平成29年3月13日（月）14時00分から16時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：内田議長、木下副議長、川崎委員、須永委員、沼本委員、服部委員、原委員、原田委員、森田委員、矢野（真）委員、小林委員、矢野（尊）委員 事務局：神田係長、奥住主事
議題	(1) 平成28年度社会教育関係団体補助金について (2) 今後の活動について (3) その他 ①社会教育委員研修会（3/3）報告
配布資料	資料1 平成28年度社会教育関係団体補助金交付確定額 資料2 学校施設開放運営協議会インタビュー項目（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成29年2月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>（1）平成28年度社会教育関係団体補助金について</p> <p>●事務局より、資料1「平成28年度社会教育関係団体補助金交付確定額」に沿って説明。</p> <p>○議長：社会教育関係団体補助金については、最近申請団体が減少しており、継続の必要があるのかという意見も出されている。</p> <p>○事務局：平成25年度の事務事業評価の対象事業であり、二次評価及び行革本部評価では抜本的見直しと評価されている。本事業の成果や役割を含め検討をす</p>	

るよう指示が出ている。以前の社会教育委員の会議でも、補助金のような金銭的支援に代わる何かが必要だという御意見をいただいている。この制度の周知もしてきたところだが、申請団体が無い年もある。他の制度が整い、この補助金は役割を果たしつつある面も伺え、平成26年12月の提言「今後の社会教育行政の運営体制について」で社会教育委員の意見として一定方向性を示していただいている。

- 委員：今回のような申請団体からすると、この補助金を無くしてしまっても活動ができなくなるのではないかと。
- 委員：同じ事業への支援は最長3年間となっている。
- 委員：そもそもこの補助金は、あくまで事業補助であり、事業の実施には自主財源は必要不可欠である。
- 委員：今回の申請が1件だったように、応募件数自体が減少している。3年という区切りは、補助金ばかりを頼った活動にならないために規定していると思うが、使い勝手が悪くなっているのが実態だと思う。公共性が高いと思える活動団体には、補助金という形ではない、何かサポートできる仕組みがあると良い。
- 委員：以前に西東京レスキューバードの防災まち歩きに参加した。代表の方はとても熱意のある方で、しっかり活動されていると感じた。徐々に活動の幅を広げているようなので、もう少し支援ができると良いと思った。今後も補助金までいかずとも、市として何か支援ができる体制があると良い。
- 委員：社会教育の役目としては、自主活動の継続性への支援や地域の教育力の向上に向けた環境整備だと思う。しかし団体が補助金の利用を続けていては育たないと思う。
- 議長：補助金については、今後も意見を聞いていきたい。
- 議長：今回提出された1団体の補助金確定額について、了承してよろしいか。
- 全委員：了承する。
- 議長：それでは承認とする。

## (2) 今後の活動について

- 議長：3月2日に打合せ会を開催した。放課後子供教室についてどのように調査を進めていくか話し合った。それを踏まえて、事務局に資料案を作成してもらった。
- 事務局より、資料2「学校施設開放運営協議会インタビュー項目(案)」に沿って説明。
- 委員：質問事項は全校で統一するのか、それとも各校担当者がそれぞれ聞きたいことを聞くのかを決めたい。
- 委員：調査の際は、放課後子供教室が遊び場開放や学習活動の機会提供の総称であるということを最初に確認するべきだと思う。
- 委員：放課後子供教室事業の内、その学校で実施している内容を確認した上で、資料2を参考に話を伺えば良いと思う。
- 委員：遊び場開放(校庭・体育館)や学習活動の機会提供などのメニューがいろ

- いろいろあるので、学校ごとに調査項目が散漫にならないように注意する必要があるが、複雑に考えずに、1つずつ聞いていけば良いのではないか。
- 事務局：放課後子供教室とは、放課後の子供の居場所づくりが主であり、西東京市立小学校では、遊び場開放という形で全校が実施している。また、一部の学校では、これに加えて学習活動の機会提供も実施している。
- 委員：提言を出してから何年か経ったので、実際の様子を調査しようということだが、遊び場開放以外実施していないところもあり、どのように聞き取るか、難しく感じる。学習活動の機会提供については、今後に向けた可能性なども聞きたいと思う。
- 委員：学習活動の機会提供を実施していない小学校でも、子供の居場所という大きいテーマでなら話をしやすいと思う。
- 委員：どのような結果を得たくて調査するのかについてもイメージして置かないといけないと思う。
- 委員：例えばだが、安全管理一つにしても各校から違った答えが出てくると思う。
- 委員：必ず聞きたい項目は前もって決めて共有した方が良いと思う。
- 委員：学習活動の機会提供や自由遊び（一時帰宅なしで遊び場開放を利用できる。）がなかなか広がらない理由についても、学校ごとに事情があるのではないかとこのところを起点に調査し、どうしたら実施しやすくなるのか等を考えられたら良い。そもそもこの調査は提言を踏まえた実態の把握が目的なので、提言という形にならなくても、報告としてまとめられたら良いと思う。
- 委員：調査し、まとめた後、フィードバックができれば良いと思う。
- 委員：実際に話を聞く際は、相手の自由な意見を引き出すようにしてはどうか。そうすれば、現場の本音が聞けるのではないか。こちらからいろいろと質問をするというよりは、向こうの話を待って、実態はどうで、どのような支援が必要なのか、どうしてもらいたいのかということ聞いてくるべきだと思う。調査に重きを置くのであれば、本音を求めたい。
- 委員：実施したくてもできない理由もあるだろうし、そういったことを我々が拾ってくるというスタンスでいきたい。
- 委員：色々と調査を進めていけばプラスの要素も見えてくると思うので、そのプラスの方向を見せることが大切なのだと思う。
- 委員：まずは何よりも、調査し、それを共有することが優先事項だと思う。各校で違いがあると思うので、何かしらの成果は得られると思う。また、まとめ作業の中で新たな課題も見つかると思うので、とにかく話を聞いてくることを優先するべきだと思う。ここでよく分からないまま長く話し合っても事が進まない。
- 議長：どの学校施設開放運営協議会（以下「運協」）にも事前に共通の調査項目を伝えることとしたい。調査項目の内容については、後日、打合せ会を開き検討したいと思う。御都合がつけば集まっていたきたい。
- 委員：指導員の年齢は聞かずに、性別を集約すれば良いと思う。
- 議長：指導員の人数等は、日程確定後に各運協へ通知を送る際に用紙を同封し、

事前に記入してもらうこととする。

調査の分担だが、以前に確認したものから割り振った。これを基に各運協に日程を確認し、変更が必要な場合は予備日を充てる。

### (3) その他

#### ①社会教育委員研修会 (3/3) 報告

○議長：研修会について感想等があれば出してもらいたい。

○委員：西東京市には子供を支える市民活動をしている団体が多く存在するので、公的な支援をどうするかという課題についてもう少し詳しく聞きたかった。

○委員：子供がどのように暮らしているのか等の問題把握については、行政よりも地域の方が分かっているという話に共感した。

○委員：児童との対話において、個人ときちんと向き合い、一緒に考えることが大切であるという話が印象的だった。

○委員：学校に通うためだけではなく、家計を支えるために奨学金をもらっている実態があることに衝撃を受けた。内容は充実していたが、良い事例だけではなく、苦勞した部分も聞きたかった。

○委員：とても広範囲な内容であったので、何回かに分けて聞きたいと思った。また、傾聴ボランティアのことに触れてもらえて嬉しかった。

○委員：身近なところにも子供の貧困や虐待があると知り、見守りがとても大切であると感じた。

○委員：講師は大学の先生ということで、学生を連れた被災地でのボランティア活動についての話があったが、社会教育の中でも福祉の視点はすごく必要であると感じた。

○委員：ニュースで見かけるような、被災された方がいじめの対象になっているという話について、どうしてそうになってしまうのかと考えさせられた。内容が多岐に渡っていたが、要点を掴んで話していただいたので、とても心に残る研修会になったと思う。

○議長：それでは以上で社会教育委員の会議3月定例会を終了する。

※次回会議 平成29年4月17日(月)午後2時から